

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス う・さ・ぎLABO		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ベテランの職員が多く、全職員が資格を持っています。ビジョントレーニングをメインに取り入れ、また行事や季節感を取り入れたプログラムに取り組んでいます。	月一回ミーティングを行い、様々な方向性からの意見を取り入れて、より良い支援を行えるよう、プログラムを作成しています。	子ども達が楽しんで活動に参加できるようなイベントや行事を取り入れていきます。
2	近隣には公園があり、戸外で地域子どもたちと交流を持ちながら楽しく遊ぶ事ができるので、立地条件がとても良いです。	天気の良い日は戸外活動を取り入れ、公園で体を動かす機会を多く設けています。	安全面に十分に配慮し、引き続き戸外活動をたくさん取り入れていきます。
3	事業所にピアノを設置し、子どもたちがいつでも弾けるようにしています。	音楽に興味を持てるよう、室内にピアノを設置しています。ピアノを閉める際、安全面を配慮し、蓋ストッパーを設置しています。	子どもたちが普段から音楽を身近に感じる事ができるよう、好きな時にピアノが弾ける環境を引き続き提供していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段が急なので危険である。 (荷物を持つての昇り降りが危ない。)	手すりを設置しているが、階段が急な為、荷物を持って昇降に危険が見られる。	手すりを持つよう声をかけ、階段の昇降の際には必ず職員が付き添っております。
2	施設周辺の道路が狭い。	放課後等デイサービスの送迎時間に車の通る量が多く危険を伴う。	安全面に十分配慮し、車に乗る際職員が付き添いスムーズに乗り込めるようにしています。
3	父母の会の活動や保護者同士の交流の機会が少ない。	個人情報の件もあり、保護者会や参観の機会を設けることができない。	保護者の方の要望があれば、一緒に参加出来るイベント等検討していきます。

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス う・さ・ぎLABO

公表日 2024年12月13日

利用児童数 2024年10月15日 回収数 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81%	15%	0%	4%	家庭的な雰囲気でごしやすいです。十分なスペースが確保されていると思います。	今後も引き続き安全面に気をつけ、活動しやすいスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	81%	4%	0%	4%	全職員が有資格者であることをが魅力的に感じます。	全員保育士と児童指導員の資格を要し経験と専門性を備えたパート職員を含めスタッフ10名を配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	85%	4%	0%	11%	玄関前の階段が急で気をつけなければいけないと思います。クッションなどで怪我をしないように室内も配慮されています。	階段には手すりを設置しており、昇降の際には、必ず職員が付き添っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	清潔感があると思います。	今後も引き続き毎日の清掃、消毒に心掛け、こども達が過ごしやすい空間づくりを行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	こどもの気持ちにしっかり向かい合って課題に取り組めるように進めてくれます。保護者とこども自身の意見が尊重された支援計画です。	今後も引き続きアセスメントを行い保護者の方と一緒に課題や支援内容を検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も引き続き支援内容を支援プログラムに添って考えて行っていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	保護者とこども自身の意見が尊重された支援計画が作成されています。	職員と話し合いながら、個々の状況に合わせ、個別、集団支援を組み合わせ支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	4%	0%	0%		研修や国の示すガイドラインを参考にしながら行っています。今後も研修を重ね支援内容を設定していきます。

9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	課題や目標に向かって支援がしっかりと行なわれています。	今後も引き続き個々の特性を踏まえ発達に沿った支援を行っていきます。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%	4%	0%	12%	子どもが楽しんで活動に参加し、学んでいけるように様々なプログラムを考えておられます。	職員間で意見を伝え合い、様々な方向性からの意見を取り入れて、より良いプログラムを作成していきます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	46%	4%	8%	42%		個人情報や対他施設の予定等があり実現は困難ですが、子ども食堂、図書館買い物へは積極的に参加しております。今後考えて行きたいと思います。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	88%	12%	0%	0%	契約時に丁寧に説明していただきました。	今後も引き続き丁寧な説明をしていきます。
13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%	8%	0%	0%	モニタリングの際に支援計画の用紙を見ながら丁寧に説明していただきました。	今後も引き続き行っていきます。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	65%	4%	4%	27%	以前参加させていただき、家でもできる取り組みを教えてもらい、とても勉強になりました。	昨年度は行いましたが、今後保護者の方の要望があれば検討していきます。
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	連絡帳の活用が少ないと感じます。LINEや連絡帳を通じて日頃の様子を教えてくださいいただいています。	今後も連絡帳をやLINEを通して保護者の方と連絡を取り、子どもの状況を共有していきます。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92%	0%	0%	8%	モニタリングを含め、悩みがある時にはその都度面談をしていただいています。	今後も引き続き保護者の方が相談しやすい場を提供していきます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	一人ひとりの特性を理解し、寄り添って支援していただいています。	今後も職員間で情報を共有し、より良い支援を行っていきます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31%	4%	27%	31%	保護者会や参観等があれば参加したいです。	一昨年度キッチンカー体験をご家族で計画させていただきました。しかし個人情報の件もあり、苦慮しているところですが、保護者の方の要望があれば検討していきます。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	69%	8%	0%	31%	質問をするとその日のうちに対応していただいています。	今後も引き続き対応していきます。
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96%	4%	0%	0%	その日のうちに電話やLINE,送迎時に口頭で対応していただいています。	今後も引き続き行なっていきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	92%	4%	0%	0%	会報は年2回発行されていますが、頻繁に発行していただけるともう少し日頃の様子がわかりやすいかなと思います。	日常、行事の様子を定期的に写真をLINEで発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%	4%	0%	8%	十分に守られていると思います。	今後も引き続き個人情報の管理を徹底していきます。職員間でも十分に周知していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85%	4%	0%	11%	契約時に丁寧に説明を受けました。定期的に避難訓練が実施されています。	今後も引き続き全職員がマニュアルを周知し、保護者の方にも定期的に説明を行い、地震や火災等の避難訓練を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73%	0%	0%	27%	地震火災等の避難訓練が定期的に行われています。	紙芝居や視覚カード等を通じて非常災害時の話をしたり、年2～3回は避難訓練を行っています。今後増やしていくか検討中です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	73%	0%	0%	27%	モニタリング等で支援計画に記述された内容を読み合わせされています。	今後も引き続き十分な安全確保の上、非常災害時の支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%	4%	0%	11%	その日のうちに電話や送迎の際に口頭で説明してもらっています。	今後も引き続き保護者の方への対応を迅速に行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%	0%	0%	帰宅後、事業所で楽しかったことを話してくれます。	子どもが安心して通所し、居心地のよい場所となるよう環境作りを行なっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	う・さ・ぎLABOに通所する日をいつも楽しみにしています。	今後も引き続き子ども達が楽しめるようなプログラムやイベントを企画していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	92%	8%	0%	0%	いつも新しい体験をさせてもらい、特別な場所になっています。	今後も引き続き保護者の方にも満足していただけるよう職員一同でより良い支援を目指していきます。

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス う・さ・ぎLABO				公表日	2024 年 12月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	活動スペースは十分にとれています。	今後も活動や状況に応じて環境を整え、過ごしやすい空間作りを目指します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	全員が資格を持ち、基準に基づいて人員配置をしています。	活動に応じて、必要な人数配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	活動スペースはバリアフリーとなっており、階段にも手すりを設置して、安全面にも考慮しています。	階段の昇降の際には手すりを持つように視覚支援を用いて伝え、必ず職員が付き添い安全面には十分に配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日清掃、消毒を行っています。室内の環境を整え、活動に最適な空間作りを心がけています。	今後も継続して、清掃や消毒をこまめに実施し、過ごしやすい環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	常時設置はしていませんが、小スペースを作り対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	全職員に業務日誌などで情報共有しています。サービス提供前後は、課題と反省を話し合う場を持つようにしています。	今後も職員間で連携を深め、より良い業務を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	月に1回、全職員で会議を行い、保護者の方からの意向に基づき、改善方法を検討し、実施しています。	今後も保護者の方からの意向を受け入れ、業務改善を積極的にしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	日頃からこどもの状況については話し合いを設けています。また、ミーティングの際にどのような療育をすべきかを話し合い、業務改善へとつなげています。	今後もミーティング等で話し合う場を設けより良い業務ができるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	第三者の外部評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	毎月出来る限り、研修を行っています。また、県からの研修内容を回覧にして周知し、希望があれば参加しています。	職員が様々な研修に参加し、スキルアップにつなげると共に知識や内容を職員間で共有しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	5領域に沿って支援内容を作成し、ホームページに公表しています。	今後も国が示した支援内容に沿ったプログラムを作成していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	10	0	保護者とのモニタリングを行った上で支援計画を見直し、その内容を基に個別支援計画を作成しています。	今後も継続してアセスメントを行い、保護者の方と今後の課題や支援内容を検討し、作成していきます。

13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	こどもの状況を全職員が紙面におこし、それを参考に作成しています。	全職員で話し合い、特性を含めた上でより良い支援できるよう検討していきます。
14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	支援計画の内容については支援方法を職員で話し合って実施するようにしています。	支援内容についてミーティング等を行い、職員間で共有し、支援計画に基づいて支援をおこなっています。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	個々の特性や興味、支援内容を業務後のミーティングや業務日誌を通じて職員間で共通認識をしています。	個々に対してアセスメントを適切に行い、細やかな支援ができるよう確認していきます。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	令和6年の指導改定より、5領域に基づき個々の支援すべき優先順位項目を設定し、支援を行っています。	今後もガイドラインに沿った個々の特性を含めた支援内容を具体的に設定していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	ミーティングで次月の活動内容等について話し合い、活動内容の工夫に努めています。	担当職員が中心となり、より良い活動プログラムになるよう検討していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	職員間で意見を出し合い、行事などを折り込みながら、季節感も取り入れて活動プログラムを検討しています。	こども達が楽しく活動に取り組めるような内容のプログラムを企画していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	10	0	ビジョントレーニングを基調とした運動や机上SST、その他の課題を取り入れて支援を行っています。	今後もビジョントレーニングを中心に個別、集団活動のプログラムを作成していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	児童発達・放課後デイサービスそれぞれ職員が話し合いながら、どのように進めていくか連携を図り、支援を行っています。	今後も各チームで連携を図りながら支援を行います。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	気付いた点は支援終了後に話し合っ改善に向けて情報共有を行っています。	今後も継続して情報共有を行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の様子は連絡帳を複写で保管し、個別支援の実施時の配慮点などわかるように書き残しています。	今後も継続して支援の検証・改善を行います。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に一回モニタリングを行い、評価と支援計画の見直しを行い、個別支援計画を作成しています。	今後も継続して定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。

	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10	0	4つの基本活動をしっかりと把握し、提供すべき支援を組み合わせ、本人や家族への支援を行っています。	4つの基本活動を確認しながら、複数組み合わせた活動プログラムを取り入れ、支援していきます。
	25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	こどものやりたい事が支援に合っているか検討した上で、計画を全職員で考え、自己決定力が身につくような支援を行っています。	自己決定力が身につくよう支援の内容を工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	サービス担当者会議には児発管と児童発達か放課後デイサービスの担当者が参加しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	体制は整っていますが、現在は医療的ケアが必要なこどもや重症心身障害のあるこどもの利用はありません。	対象児童がいる場合は、必要に応じて体制を整えていきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	10	行っておりません。	必要があれば機会を設けます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	こども食堂で福祉会館への参加はしていません。直接交流はないですが公園やレジャー施設で一緒に過ごすことがあります。	公園やレジャー施設等の行く機会を多く設け活動時、時間を共有していきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	連絡帳や送迎の際に口頭で保護者の方にその日の様子を伝え、共通理解を行っています。	今後も継続して行っています。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	昨年はペアレントトレーニングに取り組みましたが、今年は未定で情報提供はしていく予定です。	保護者の方から要望があれば検討していきます。
	32	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	10	対象児童がない為、今後必要であれば行います。	今後必要があれば、検討していきます。
	33	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	特別支援学校、小学校に行き、情報共有をしたことはありますが、定期的ではありません。	
34	<b>【児発センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
35	<b>【児発センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					

36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10	0	個人情報の関係により、保護者を通して行っています。また、学校のホームページより情報を得ています。	今後も継続して行っています。
38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	多機能型の為、施設内で情報共有を行っています。	今後も必要があれば検討していきます。
39	【 <u>放デイのみ</u> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	1	対象児童がいません。 今後必要であれば対応します。	今後必要があれば検討していきます。
40	【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3	対象児童がいません。 今後必要であれば対応します。	今後必要があれば検討していきます。
41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	支援プログラム、利用負担などについては見学や契約の際に説明しています。保護者からの質問にはその都度、担当から説明しています。	今後も丁寧に説明を行っていきます。
42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	モニタリングで保護者の希望や意志を確認しながら支援計画を作成しています。	今後も継続してモニタリングを行い、支援計画を作成していきます。
43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	モニタリングで支援計画を示し、説明をしながら保護者の方に同意を得ています。	今後も継続して丁寧に説明を行い、同意を得ていきます。
44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	保護者の方からの希望で要望があれば会って話をしたり、電話で話をしています。	今後も継続して保護者の方が相談しやすい場を提供していきます。
45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	ペアレントトレーニングを行ったことがありますが、個人情報の観点から望まない保護者もいるので、難しい事案であると考えています。	保護者の方にも参加していただけるイベント等を検討していきます。
46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	相談や苦情に対しては丁寧に説明、謝罪を行い、記録を残しています。	今後も継続して迅速に対応していきます。
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	年2回会報を発行しています。活動内容は個々に写真を保護者にLINEで送信しています。	今後も継続して日常、行事の様子を定期的に発信していきます。



	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報の取り扱いについては他者の目に触れることがないように職員間でも徹底し、十分に留意をしています。	今後も十分に気を付けて、管理していきます。
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	子どもとの意思疎通は視覚支援等を通していきます。保護者の方には連絡帳やLINE、送迎の際、口頭で伝えるようにしています。	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけていきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	地域の住民ではありませんが、加古川市全体でボランティアの方や老人大学の方等を招いて、行事を行っています。	今後も地域の方との交流の場を多く持てるよう機会を設定していきます。
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	保護者の方からの要望に応じ、電話や個別面談を行っています。	今後も継続して適切な支援を行っていきます。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各マニュアルを作成し、全職員が周知しています。保護者の方へは契約の際に丁寧に説明を行っています。	今後も継続して周知に徹底していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	地震、火災等を想定し、避難訓練を定期的に行っています。子ども達と一緒に避難場所へのルート等の確認も行っています。	今後も定期的に避難訓練を実施していきます。備蓄品も常備して対応していきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	保護者の方に確認し、全職員が周知できるよう確認しやすい所に添付しています。	今後も継続して確認を行っていきます。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	契約の際に保護者に確認をして対応しています。	今後も継続して対応していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全管理には全職員が十分周知した上で、支援を行っています。	今後も継続して行っていきます。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	契約の際やモニタリング等で、保護者の方に丁寧に説明し、保護者の方にも周知していただいています。	今後も継続して保護者の方に周知していただけるよう連携を図っていきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	その都度職員間でも十分に話し合い、分析を行ない、再発防止に繋げています。	今後も引き続き再発防止に向けて、全職員で分析と結果の内容を共有していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	年1回以上の研修を実施しています。	今後も引き続き研修を行っていきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	基本的には拘束はしないとしています。契約の際に保護者の方に丁寧に説明を行っています。	今後も引き続き支援計画に記載していきます。